

# 京都造形芸術大学通信教育部芸術学コース 公開講座のお知らせ

今年も下記の日程で芸術学コース主催の公開講座を開催いたします。  
今回の講座では水野千依教員をファシリテーターとし、イタリア服飾史と色彩象徴論がご専門の伊藤亜紀先生をお招きし、以下のテーマでお話しいただきます。受講料は無料、事前申込みも不要ですので、みなさん、奮ってご参加ください。芸術学コース以外の方、一般の方、どなたでも聴講可能です。

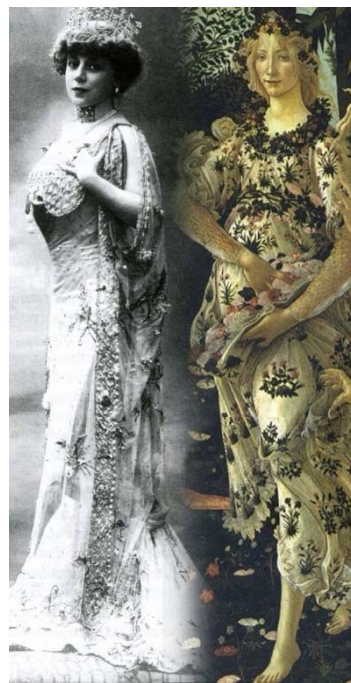
## 「イタリア・モードは死なず」

栄光のイタリア・ルネサンス絵画を彩る華麗にして繊細、綺想あふれる服飾品の数々。ヨーロッパのモードを牽引していたはずのイタリア人は、なぜバロック期以降、「沈黙」したのか。

そして20世紀、なぜイタリアは再び世界のモードの表舞台へと再び咲くことができたのか。

イタリアのデザイナーたちを支える「誇り」とは、いったい何か。

中世末期から現代までのイタリア・モードの栄枯盛衰を、美術や文学との関わりの中かで考察する。



ボッティチェッリ《春》(1482年頃)のフローラ(右)と、ローザ・ジェノーニによるドレス(1906年)

## 伊藤 亜紀先生

(特別講師: 国際基督教大学教養学部教授)

2014年5月18日(日) 15:00~17:00(開場 14:30)

京都造形芸術大学(東京・外苑キャンパス) ※教室は当日掲示にて案内

入場料無料 / 事前予約不要

## ● 講演者プロフィール

伊藤亜紀 (いとうあき)

国際基督教大学教養学部教授。専門はイタリア服飾史と色彩象徴論。

著書に『色彩の回廊——ルネサンス文芸における服飾表象について——』

(ありな書房、2002年)、訳書にドレッタ・ダヴァンツォ=ポーリ監修

『糸の箱舟 ヨーロッパの刺繍とレースの動物紋』(悠書館、2012年(共訳))、

マリア・ジュゼッピーナ・ムツァレリ『イタリア・モード小史』

(知泉書館、2013年(共訳)) など。

## ● 京都造形芸術大学 東京・外苑キャンパスへのアクセス

[所在地] 〒107-0061東京都港区北青山1-7-15

[アクセス]

■JR総武線「信濃町駅」より改札を左折、徒歩約5分

■東京メトロ半蔵門線・銀座線・都営地下鉄大江戸線  
「青山一丁目駅」より0番出口、徒歩約8分



### 講演会に関する問い合わせ

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学通信教育部芸術学研究室 (Tel : 075-791-9141 Fax : 075-791-9021)